



思い出いっぱいです！

# HANYU カメラさんぽ

ご当地キャラ大集合



2月  
13日(土)

北本市で「まち観フェスタ2010」が開催され、羽生市からムジナもんといがまんちゃんが駆け付けました。キャラクターたちは、自己紹介と共に、ご当地の物産や見所をPR。子どもたちの歓声があがり、和やかな雰囲気になっていました。

2月  
25日(木)

昭和50年に福島県二本松市に建設された「羽生市あだたら高原少年自然の家」が、34年間の歴史に幕を閉じることになりました。この日、小中学校として最後の利用者となる東中学校の生徒らがお礼の会を開催。これまで多くの人たちに愛され続けてきた施設に、感謝の拍手が送られました。

楽しい郷土の文化と歴史



2月  
6日(土)

市民プラザで、彩の国21世紀郷土かるた羽生市大会が開催され、市内小学生74名が参加。子どもたちは体を乗り出し、真剣なまなざし。熱気に包まれた会場に、元気なかけ声が響き渡っていました。



早く仲間に  
入りたい~!

おめでとうございます!



東中学校3年生の岡田美穂さんが、埼玉県の書きぞめ展で県知事賞を受賞。また、西中学校1年生の石井弥希さんが、埼玉県の絵画コンクールで同じく県知事賞を受賞。書そして絵画の部門で2人が県内でトップに！これからの更なる飛躍が楽しみです。

心にしみる歌声



2月  
14日(日)

産業文化ホールにおいて、歌や踊り、楽器などをこよなく愛する皆さんによって、舞台芸能発表会が行われました。皆さん日ごろの練習の成果を十分に発揮して、すばらしい発表会となりました。

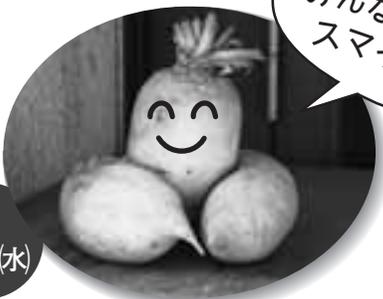
みんなの力で  
日本一の羽生へ!



1月20日(水)から約1ヵ月間をかけて、河田市長が市内小・中学校を回る、エール訪問が行われました。河田市長は映像を通じて、羽生自慢のお話と自作の詩をプレゼント。子どもたちは、改めて知る羽生の魅力に興味津々の様子でした。

2月  
24日(水)

市役所東側の職員通用口前に、あぐらをかいたダイコンが出現。このダイコン、2本を組み合わせたように見えますが、実は二股の一本。ニコリ顔が似合うこのダイコン様は、通り過ぎる方たちに笑顔を与えていました。



みんな  
で  
スマイル

ここに  
あります  
AED!



2月  
2日(火)

(社)日本道路建設業協会関東支部から、道の駅はにゅうにAEDが寄贈されました。この装置は、心肺停止状態のとき電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。いざというときのために、レジ横に設置されています。

5ページの「都市づくりフォーラム」で、誰もがより使いやすいものや環境を生み出していくという考え方の「ユニバーサルデザイン」について少し触れています。このユニバーサルデザインの理念を大切にしようと思いますが、広報の編集で時間に追われると、ついつい文字のみに目を向けてしまいがちです。広報はにゅうは、市の社会福祉協議会で羽生朗読ボランティアの方々のご協力を得て、目の不自由な方のために「声の広報」として、カセットで貸し出されたり市のホームページへも掲載されています。声に出して読んで、も分かりやすい広報紙になるよう、気を付けようと思っています。



あだたら高原少年自然の家が閉所されることになり、とても寂しく感じました。思い出すと中学生のときの林間学校は、楽しい思い出ばかり。火の神の登場とともに始まったキャンプファイヤー、みんなでひそひそ話で盛り上がった二段ベッド...そんな中学生の頃を思い出すきっかけがもう一つ、今月末に行われる中学3年生のときのクラスでの同窓会。担任だったK先生が今年3月で退職されることになり、もう一度授業を行ってもらうことに。当時の写真や音楽もプロジェクターで流そうと計画中。K先生もどんな授業を行ってくれるのだろう。将来の夢や不安でいっぱいだったあの頃、仲良かったクラス。あの時に戻れるのが楽しみです。